

「公立大学法人神戸市看護大学第2期中期目標(案)」に対する市民意見の募集結果について

○意見募集期間 令和6年6月20日(木)～令和6年7月19日(金)

○意見数 2通 2件

○意見の概要及び意見に対する市の考え方

※市民意見の概要は、いただいたご意見の主旨を損なわない範囲で要約しています。

番号	市民意見の概要	神戸市の考え方(案)
第2 豊かな教養と専門性を備えた実践力のある看護人材の育成と地域への着実な供給		
1 入学者選抜及び学部教育		
1	<p>小さな単科大学であるが、学科100名の学生が同じ講義を受講するとなると個々の学生の匿名性が高まることあるせいか、私語や秩序の乱れといった残念な光景が見られる。とりわけ専門外の科目に於いて顕著であり、それらの科目の履修によって得られる教養が優れた看護専門職者になるための幅の広い人間性を養うのに不可欠であるという意識を持っていない学生が少なくない状況にある。また学生間のハラスメント行為といった将来看護専門職者となることに適性があるかどうか著しく疑問であるような学生も残念ながらいる。このような状況に対し、学科を完全に3～5分割し少人数での受講体制にすることで学生側の意識の変革をもたらすことを期待できるのではないかと考える(国公立大学で1つの学科・コース・専攻で100名は多い方であるといえる)。また、質の高い看護専門職者を育成するためにも学業成績のみで評価されるのではなく、不適切行為をほたらいた学生への積極的な懲罰を行うことをためらわない仕組みを構築してもらいたい(ハラスメントを行った学生は成績を修めつつ、それを受けた学生はその影響により成績を修められない、あるいは退学することがありうる。また、その可能性のある事象がある)。</p>	<p>ご指摘の受講体制について、大学の科目の中には、講義形式で1学年全員を対象とすることにより、多くの学生からの質疑応答や意見によって、より深い学びを効果的に得ることができるものがあります。</p> <p>すべての講義科目を複数クラスにわけるとは、教室の不足や現状の教員数では時間割を組むことが困難な状況ではありますが、実技に使うベッド数等の物理的な理由から、複数クラスに分けて行っている授業や、数名ずつに分かれて行う臨地・臨床での実習もあります。</p> <p>授業の内容によっては大勢の学生を対象とすることで効果的にできるもの、少人数の学生を対象とすることが適しているものなどを総合的に勘案し、授業の特性に応じた対応を行っています。</p> <p>また、神戸市看護大学では、学生からのハラスメントに関する様々な相談に対応できるようハラスメントの相談先として、公益通報窓口(内部・外部)やハラスメント相談窓口を設置しています。相談内容によって、必要な調査を実施し、状況に応じた適切な対応を行っていくこととしています。いただきましたご意見につきましては、神戸市看護大学にお伝えさせていただきます。</p>

番号	市民意見の概要	神戸市の考え方（案）
第2 豊かな教養と専門性を備えた実践力のある看護人材の育成と地域への着実な供給 3 学生への支援		
2	学生生活の充実のために生協の開店時間を長くする案を加えてほしい。	<p>神戸市看護大学は単科大学であり、450名程度と利用人数が少ないこともあり、売上が伸びず、赤字幅が大きくなっていることに加え、原材料の高騰、光熱水費・人件費の上昇などの影響も受けており、生協を長時間開店させることは、現状では難しい状況です。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、神戸市看護大学にお伝えさせていただきます</p> <p>なお、中期目標は、市が法人に対して指示する達成すべき目標であり看護大学のあるべき姿や目指すべき基本的な方向性を示すものとなっています。</p>